

水防災教育の取組について

小学生を対象とした水防災教育の実施

<開催概要>

日 時：令和4年6月23日（木） 11時00分～12時00分

場 所：川崎市立上丸子小学校

参加者：小学校5年生 計3クラス70名

<川崎市立上丸子小学校における出前講座 概要>

①多摩川の河川環境、②多摩川の洪水特性、③水害からまちを守る取組、④地域の水害危険性を学習内容として、クイズ教材を活用しながら、多摩川河川敷にて出前講座を実施した。

多摩川(たまがわ)ってどんな川？

多摩川の取組①堤防

東日本台風の水害(令和元年)

大雨のときどうなる？

<河川敷にて出前講座を実施する様子>

<児童の質問に回答する様子>

<堤防クイズで手を挙げる児童たち>

【児童からの質問・意見】

(質問) 台風19号は何が原因で被害が出たのか。

(回答) 川の水がどんどん上がり、下水の水が川に流せなくなってしまった。実は川の水が溢れたのではなく、堤防の外側に水がどんどん溜まっていてしまい、被害が出てしまった。

(質問) 洪水が起きたときに、一番最初にするべきことは。

(回答) 起きたときではなく、起きる“前”に情報を仕入れて、避難する方法等を決めて準備しておくことが大事。洪水が起きたら、川には近づかない。

<開催概要>

日 時：令和4年9月22日（木） 8時50分～11時25分

場 所：世田谷区立上北沢小学校

参加者：小学校4年生 計3クラス86名（1クラスではWEB会議）

<世田谷区立上北沢小学校における出前講座 概要>

教員の要望を踏まえ、①国土交通省の仕事、②水害からくらしを守る取組、③自分たちができること、④大雨時の通学路の危険を学習内容とした。また動画やクイズ等の児童が理解しやすい教材を活用し、3クラスのうち1クラスはWEB会議ツールも用いながら、出前講座を実施した。授業後、児童からは「面白かった」「楽しかった」という声があがった。

自己紹介

多摩川の取組①堤防

地域の取組：校庭貯留

みんなができる取組

<堤防クイズで手を挙げる児童たち>

<WEB会議による出前講座>

<避難時の服装クイズで意見を述べる児童>

小学生を対象とした水防災教育の実施

取組の背景

- 「水防災意識社会の再構築ビジョン」の中での取組として、防災教育の促進が掲げられている。
- 令和2年度施行の新学習指導要領では、防災教育の内容が拡充されている。

実施内容等

- 防災教育に取り組む小学校において、児童が自分事と考えられるように地域性を資料に反映。
- 防災教育による正しい知識習得により、小学生児童の避難の理解力向上に繋げる。

当事務所の取組方針

- 水防災教育教材の作成及び配布と、出前講座による水防災に関する総合学習授業の支援の2つを軸に取り組んでいる。今後は現場のニーズを踏まえ、水防災教育教材の改善を進める予定。

【令和元年度】

協議会を通じた水防災教材集配布

- 1 水防災教材資料(共通編)
- 2 水防災教材資料(展開例)
- 3 ワークシート
- 4 地域ごとの教材作成要領
- 5 災害時の画像等カタログ
- 6 水防災教育関連の参考リンク集
- 7 川崎市立東小田小学校 教材例
- 8 日野市立平山小学校 教材例
- 9 世田谷区立砧南小学校 教材例



【令和3年度】

水防災教育の実施

川崎市立上丸子小学校



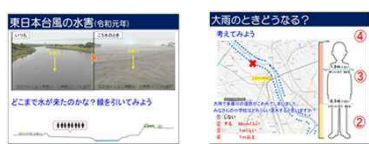
水防災教育の教育現場のニーズ把握

協議会を通じ、アンケートによる水防災教材のニーズ把握

【令和4年度】

水防災教育の実施

- 1 川崎市立上丸子小学校
- 2 世田谷区立上北沢小学校



マイ・タイムライン作成教材(京浜河川版)の作成



防災教材動画集の作成

